

東溪中学校だより

令和6年度2学期 第1号

猛暑日が続いた日田市もようやく、秋の気配が身近に感じられるようになりました。8月25日（日）に、親子・地域で行う除草作業を皮切りに、ふれあい運動会、日田市中体連新人戦を経て、1学期同様、日常の安全・安心な学校生活が続いている今日この頃です。今後は、1学期末から練習してきた日田市駅伝大会での躍進を願うとともに、更なる東溪中学校の生徒の成長が楽しみな時期でもあります。

1. 1学期の検証・改善の状況から（成果と課題）

本校では、「言語能力の向上に力を注いでいます。1学期では2回の検証・改善を繰り返してきましたが、2学期は、以下に示す授業を全学級で実践することとしました。いわゆる「肝」は、教員が生徒に「指導」するだけでなく、生徒と共有し、ファシリテート（伴走）することです。



○本校の強みは、以下の項目で高い肯定率を示していることです。

- ・先生や友だちの話を聴くとき、しっかり返事や反応をしている。
- ・自分と考え方や感じ方が違う人の話もきちんと聴こうとしている。
- ・自分で考えたことや言いたいことが相手に伝わるように努力している。
- ・友だちと話し合いをすることで、新しい発見をしたり、自分の考えが広がったり深まったりしたことがある。
- ・自分の行動をふり返り、よかったことや課題（改善しなければならないこと）に気づくことがある。
- ・自分の将来のために今、がんばろうと思っている。
- ・自分は「やればできる」と思う。
- ・自分がかんばろうとしたとき、先生は応援してくれると思う。
- ・自分がかんばろうとしたとき、友だちは応援してくれると思う。
- ・一人より、友だちと一緒にのほうがかんばれる。



△反対に課題は・・・

- ・話を聴くときには、相手の顔を見て、一生懸命、うなずきながら、笑顔で、終わりまで聴くことができている
- ・大きな声でさわやかなあいさつをすることができる
- ・常にしっかりと返事をしたり・反応したりしている

2. これからの方向性（“ベクトル”をそろえる）

そこで、2学期は、徹底して全校一斉に取り組む内容を右に示すこととしました。「授業規律の徹底」と明記していますが、「姿勢よく静かに聞きましょう」だけでなく、「相手軸」にたって、話す、聞く（聴く、訊く）に重要性をおいています。加えて、言語化すること、生徒自身の内発性がさらに発揮されることで、自立した学習者が育ちます本校では、行事を含め、すべてのカリキュラムで意識を深め、スモールステップで目標達成できると思います。今回は、進捗の状況をお知らせします。

2学期全校の生徒、職員で取り組むこと （教員・生徒 共有版）

- 授業規律の徹底**を徹底しましょう
 - ・聞く人にわかってもらえるよう、話す人は声量、スピードを意識します
 - ・聞く人は話す人に体を向ける、うなづくなど、話す人を大事にします
- 「言語化」**しましょう
 - ・「ふりかえり」は、学んだこと等を、即興で言ったり、書いたりします
 - ・その際、生徒の皆さんが、習った言葉や言い方を最大限に活用します
 - ・先生方は、振り返り内容について、その場でコメントしたり、事後に文章で生徒に返します。
- 「自立した学習者」**について
 - ・「授業と宿題・家庭学習つながりあう」を、先生も生徒も心がけます
 - ・生徒の学びの主体性や意欲が増し、「より良い結論（振り返り）を導き出す授業」ができることも目指しましょう